

平成24年度

事業計画書

(平成24年1月1日～平成24年12月31日まで)

社団法人 競走馬育成協会

## 平成24年度事業実施計画

本協会は、創立以来50年余の歴史を数え、日本の競走馬育成技術の向上に大きく貢献してきた。この間の本協会会員の果たしてきた役割は極めて大きく、年々その役割が増大している。平成24年度は、この50年余の歴史を背景に業務運営を行う。

また、平成22年度から、競馬界として初めて取り組んだ競走馬業界の人材養成支援対策に引き続き積極的に取り組むとともに、育成技術の一層の向上に資する事業に重点を置きつつ、関係機関のご指導、ご協力とご支援を得ながら、以下の事業を計画的、効率的に実施して健全なる競馬の発展に寄与するものとする。

### 1. 育成技術表彰事業の実施

- (1) 会員の育成技術の向上を図り、丈夫で強い馬づくりを目指した競走馬育成の健全な発展に資するため、育成技術表彰事業を実施する。
- (2) 表彰対象競走は昨年同様、原則として日本中央競馬会が施行する、新馬競走、2歳重賞競走、障害重賞競走、3歳以上の重賞競走及び平地の3歳以上のオープン競走（3歳限定競走を除く）とする。

### 2. 育成技術講習会の開催

- (1) 競走馬の育成・調教に関する経営・飼養・衛生・環境管理及び馴致・トレーニング法等の知識や技術について、普及啓発を図り、丈夫で強い馬づくりに資するため、育成技術講習会を実施する。
- (2) 年々高まる講習会に対する期待に応じて、日本中央競馬会、財団法人軽種馬育成調教センターと連携、共催することにより、運営の効率化と充実を図ることとする。

### 3. 軽種馬経営高度化指導研修事業(人材養成支援)の実施

軽種馬経営の安定につながる将来の基幹的技術者の確保及び高度な知識技術の修得の支援のため、引き続き、担い手育成事業(修学奨励金交付、生産育成技術者海外派遣研修)と生産育成牧場就業者参入促進事業の効率的な実施を図る。

#### 4. 2歳育成馬トレーニングセールスの推進

会員の育成成果を公開する場でもあるトレーニングセールスにおいて、より市場取引の活性化を図られるよう支援に努める。

#### 5. 育成施設等の整備に関する助成等の実施

- (1) 育成施設等の整備のため、財団法人全国競馬・畜産振興会からの助成を受け、軽種馬生産育成強化資金利子補給事業を実施する。
- (2) 畜産環境問題に対応する財団法人畜産環境整備機構の行う畜産環境整備リース事業に取り組む。
- (3) 日本中央競馬会の施設等で使用を取りやめた機器・資材等を会員に斡旋する競馬関連機材等有効活用事業に取り組む。
- (4) 財団法人畜産近代化リース協会の行う畜産リース事業について、会員の利用が図られるようPR、支援に取り組む。

#### 6. 協会の運営・拡充強化

- (1) 上記の事業運営について、審議・協議するため、総会、理事会等を開催する。
- (2) 当協会の主要行事、関連する業界内動向、育成技術等の情報を提供するため、情報誌「いくせい」を発行する。
- (3) 競走馬の育成者の新規加入を促進し、組織の整備拡充を図る。
- (4) 各機関のご指導を得て、公益認定申請を行う。

# 収支予算書総括表

平成24年1月1日 ～ 平成24年12月31日

(単位:千円)

科 目	一般会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	軽種馬経営高度 化指導研修事業 担い手会計	軽種馬経営高度 化指導研修事業 就業促進会計	合 計
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
入会金収入	150	0	0	0	150
会費収入	5,400	0	0	0	5,400
補助金等収入	57,951	6,005	0	0	63,956
委託事業費収入	0	0	0	0	0
補助事業費収入	0	0	10,000	50,000	60,000
特定資産受取利息収入	1	0	0	0	1
雑収入	315	1	2	2	320
事業活動収入計	63,817	6,006	10,002	50,002	129,827
2. 事業活動支出					
事業費支出	42,622	5,742	9,152	47,702	105,218
業務管理費支出	24,498	0	0	0	24,498
業務委託費支出	996	0	0	0	996
育成技術向上推進事業費支出	321	0	0	0	321
2歳育成馬トレーニングセール事業費支出	0	0	0	0	0
育成情報誌発行事業費支出	430	0	0	0	430
育成技術表彰事業費支出	16,377	0	0	0	16,377
利子補給事業費支出	0	5,742	0	0	5,742
育成技術者海外派遣費支出	0	0	7,000	0	7,000
派遣者選考経費支出	0	0	300	0	300
修学奨励金支出	0	0	1,852		
求人ウェブサイト作成費支出	0	0	0	3,800	3,800
求人フェア開催費支出	0	0	0	20,002	20,002
牧場就業体験費支出	0	0	0	8,650	8,650
研修費支出	0	0	0	400	400
媒体費支出	0	0	0	6,000	6,000
広報費支出	0	0	0	8,850	8,850
管理費支出	18,269	0	0	0	18,269
役職員給与支出	10,360	0	0	0	10,360
事務費支出	6,287	0	0	0	6,287
会議費支出	1,622	0	0	0	1,622
推進事務費支出	0	264	850	2,300	3,414
現地指導旅費支出	0	163	0	0	163
通信運搬費支出	0	101	310	80	491
会議費支出	0	0	100	150	250
印刷費支出	0	0	190	0	190
旅費支出	0	0	50	2,000	2,050
消耗品費支出	0	0	200	70	270
修学奨励金支出	0	0	0	0	0
補助金等返還金支出	0	0	1,898	281	2,179
事業活動支出計	60,891	6,006	11,900	50,283	129,080
事業活動収支差額	2,926	0	△ 1,898	△ 281	747

科 目	一般会計	軽種馬生産育成 強化資金利子 補給事業会計	軽種馬経営高度 化指導研修事業 担い手会計	軽種馬経営高度 化指導研修事業 就業促進会計	合 計
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定預金取崩収入	0	0	1,898	281	2,179
投資活動収入計	0	0	1,898	281	2,179
2. 投資活動支出					
特定預金取得支出	2,313	0	0	0	2,313
投資活動支出計	2,313	0	0	0	2,313
投資活動収支差額	△ 2,313	0	1,898	281	△ 134
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入	0	0	0	0	0
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0			0
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	0	0	0	0	0
当期収支差額	613	0	0	0	613
前期繰越収支差額	4,561	0	0	0	4,561
次期繰越収支差額	5,174	0	0	0	5,174

(注) 1. 予算額については、今後補助団体との調整が必要である。調整の結果、補正を必要とする場合は、理事会において変更できるものとする。

2. 借入金限度額 0円

3. 債務負担額 0円